

おおの議会だより

No.68
62.1.20



完成間近い上庄中学校舎

226回12月定例会

課設置条例の一部を改正

60年度決算認定は継続審査に

第226回定例会市議会は12月12日招集され、会期を19日までの8日間と定めましたが、議事の都合により会期を22日まで3日間延長し理事者から提出の議案16件・市会案3件を審議しました。

その結果「昭和61年度大野市一般会計補正予算案」「大野市役所課設置条例の一部を改正する条例案」など15議案と、市会案3件を可決・同意。「昭和60年度大野市歳入歳出決算認定について」は決算特別委員会を設置して、継続審査としました。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

審議日程

- 12日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 15日 本会議（一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任、請願・陳情の上程、各案件委員会付託）
- 16日 委員会（産業経済・建設）
- 17日 委員会（教育民生・総務）
- 18日 委員会（決算特別）
- 19日 本会議（各委員長報告質疑・討論・採決、市会案追加上程・採決、会期延長）
- 22日 本会議（追加議案の提案理由説明、採決）

市政をきく

一般質問から

市政方針について

問 ①市民の75%が熱望している公的病院の建設推進が遅れているが、県立病院の分院として発足させてはどうか。また、公共施設の建設については、総合的な計画を立てて議会に諮ることになっていたが、総合運動場等の計画はどのようになっているのか。

②国道158号線の改良と越美北線の利用促進は裏腹の関係になるが、どうか。

③今後の水対策についての考え方を伺いたい。

④当市には観光資源がたくさん

あるが開発が遅れている。宝慶寺方面の開発にはもっと力を入れてはどうか。

⑤二十有余年を経過した住居表示に対し、旧町名復活の運動が行われているが、どう思うか。

答 ①地方自治体が総合病院を建設・運営することは困難である。

来年4月から、土曜日の午後1時から翌朝9時までの夜間診療体制を確立したい。

公共施設については議会に相談しながら建設したい。総合運動公園は広域圏の中で建設してもらうよう県へ要望している。

②国道158号線については福井から上新橋までは、来年度着工を強く申し入れたので見通しがある

と思う。大野側からの着工問題については予算増を期待している。

越美北線についても存続のため補助を継続したい。

③水問題については、ダム建設による新規開発や新規用水の確保、流雪系用水の循環利用、地下水の涵養など、新しい組織を設置して取り組みたい。

④宝慶寺や黒谷観音などたくさんの観光資源があるし、観光協会も新しい組織として誕生したことでもあるので、官民一体となって観光開発を進めたい。

⑤住居表示については去る12月8日に9名から成る「住居表示実態調査検討委員会」を設置したので、実態や現状などあらゆる角度からつぶさに検討したい。

市長の政治姿勢について

問 今回の行政機構で水資源対策課を設けて水行政の一本化を図りたいとのことであるが、水道課

		十一月臨時会													
第五十三号	第五十二号	第五十一号	第五十号	市会案第九号	市会案第八号	市会案第七号	第六十九号	第六十八号	第六十七号	第六十六号	第六十五号	第六十四号	第六十三号	第六十二号	第六十一号
人権擁護委員候補者の推薦について	収入役の選任について	昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第一号)案	昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第四号)案	公共事業の国庫負担率の引き下げ措置に関する決議案	大野市議会委員会条例の一部を改正する条例案	森林河川緊急整備税の創設に関する決議案	公平委員会委員の選任について	公平委員会委員の選任について	教育委員会委員の任命について	昭和三十九年度大野市歳入歳出決算認定について	市営土地改良事業の実施について	大野市企業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例案	大野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	大野市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案
同 意	同 意	原案可決	原案可決	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意	同 意

も一本にした方がよいと思うがどうか。

上・下水道の経費は一般会計から持ち出さないのが原則であるがどうか。公共下水道の終末処理場用地のその後の進捗状況と着工の見通しはどうか。国道157・158号線の整備促進と、中部縦貫道路の建設促進について伺いたい。

答 上水道については加入促進を図って採算ベースに合うよう努力したい。

公共下水道については、来年度から本格的に地下資源の問題や地下水対策等の問題を考慮しながら対応を進めたい。

国道158号線の大野側からの着工については今年調査費がついているが、来年度は用地交渉、物件移転、一部着工ができるよう相当の額を要請したい。

福井～勝山～大野～白鳥間の中部縦貫道路については、国の第四次全国総合開発計画の中に採り入れてもらえる見通しであると聞いている。



早期整備が望まれる国道158号線(花山峠)

行政機構について

問 現在の大課制は58年10月、横の連絡をより緊密にさせるために導入されたものであるが、3年を過ぎても横の連絡調整や協力体制は十分図られていなかったように

思うが、細分化すれば、また「元の木阿弥」に戻ってしまうのではないか。

また、工事検査室を廃止し、建設課の中に検査係を設ける予定になっているが、工事を担当した事業課が自身で仕事の検査を行うということはおかしいと思うが、どうか。

答 現在の行政機構は責任体制の明確化と下部への権限移譲、および課内相互間の応援体制の確立などを目指して実施されたものであるが、所掌事務が市民にも分かりにくく、なじめない一面がある。

検討段階で部制の考え方もあったが、市民の理解しやすさや安上がりの行政などを考慮して課制を導入したい。

課相互の連絡調整の問題については、総務関係・市民生活衛生関係・農林商工関係・都市建設関係など、ブロックごとに常に情報の交換や応援体制を確立させるとともに、職員の自覚、意識の向上、連帯感・責任感の向上を図るよう強く指導したい。

工事検査室については、建設課内に独立的な権限を持った専門職員を配置し、各課の応援体制を得られるよう有機的な組織にしたい。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第五十四号	昭和六十一年度大野市一般会計補正予算(第五号)案	原案可決
第五十五号	昭和六十一年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第三号)案	"
第五十六号	昭和六十一年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第三号)案	"
第五十七号	昭和六十一年度大野市南部第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第二号)案	"
第五十八号	昭和六十一年度大野市水道事業会計補正予算(第一号)案	"
第五十九号	大野市役所課設置条例の一部を改正する条例案	"
第六十号	議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	"

円高不況の克服と 雇用対策について

問 基幹産業である繊維産業は急激な円高によって、輸出の落ち込みと減産、輸出採算の悪化と加工賃の低迷の中で深刻な不況に陥っており、事業の縮小や一時帰休、希望退職者の募集等、雇用労働者の生活不安を募らせている。

県では短期・中期・長期的視点に立った産業構造の転換施策事業を進めているが、当市の対策を聞きたい。

不況を克服するには雇用創出を図らねばならないが、企業誘致はどのようになっているのか。

答 今回、国において「特定地域中小企業対策臨時措置法」が制定され、当市は特定地域に指定された。今後、この制度の活用など動向を見つめながら不況の克服と雇用対策にあらゆる努力をしたい。

企業誘致については、バイオ産業とメガネ関連産業、編物関係の産業の二、三社と話を進めているが、土地の問題で困難を極めている。その中の1社については土地売買の話合いが相当大詰めにきている状況である。

雪害対策について

問 昨冬、県は県道の融雪装置に水を出してくれといい、市は出してくれるなというので、区長が板



融雪装置が利用されていない六間通り

ばさみになって困ったことがあったが、今冬は県と市で話がついているのか。

市長は「屋根や道路の融雪には地下水を使用させない」と言明しているが、機械除雪だけで十分対応できるのか。旧町部で屋根雪の下ろせない所があるが、この場合「大野市地下水保全条例施行規則」では、水位が6cm以上下がった場合でも、市長が承認すれば利用できるよになっている。一切認めないならば、どのように処置するのか。

答 地下水保全条例施行規則では春日観測井の水位が6cm以上になった場合、幅員が狭くて除雪機械が入れないとか、他の方法がない路線に限って認めることができる

が、地下水の非常事態ともいえるべき今冬は、この基準の運用について特に厳格に実施することを任務と考えている。

現在、給水タンク増設などの応急対策を検討しているが、地下水を市民共同の財産として保全確保することが最も重要であるので、屋根融雪はもちろん駐車場の融雪にも一切これを認めない強い方針で望む覚悟である。

雪に強いまちづくりの問題



問 建設省では技術開発の一環として、降雪予測のためにニューメディアを活用し、富山県・

新潟県下を対象として雪情報の通信システムの実用実験に入っているようであり、住民へも情報が提供されると思うが、この点当市の対策を伺いたい。

除雪が困難な道路等は流雪溝利用による除・排雪が極めて有効であるが、水量や構造上の問題が

225回臨時市議会

収入役の選任に同意

去る11月28日、第225回臨時市議会が開かれ、理事者から提出された「昭和61年度大野市一般会計補正予算案」「収入役の選

任について」「人権擁護委員候補者の推薦について」など4件を審議した結果、いずれも原案どおり可決・同意しました。

ある個所があるが、どうか。

答 防災無線や防災ファクシミリ等については、市も基本計画に基づいて整備を進めている。これまでは県の防災無線やダム統管のファクシミリ、河川情報システムなどを導入しており、62年度で県との防災無線ファクシミリ導入を計画しており、今後も積極的に充実していきたい。

流雪溝の整備については、各水利権者や地係の方の協力を得て、三、四年、改良・補修に努力した結果、約1分の水が増えたと思う。

改良率は63%程度であるが、今後二、三年で整備を完了したい。

勾配が悪く流れの良くない個所や、分水調整の悪い所も鋭意改良に努力したい。

国民健康保険の一般会計 からの補填について

問 国民健康保険加入者は、各種組合保険加入者の定年になった者の移動によって、年々多くなりつつある一



方、若年者は各種組合保険や社会保険等の加入によって収支のアンバランスが表面化してきている。

61年度当初予算で一般会計から約2,500万円を、財政調整基金から7,300万円をそれぞれ繰り入れている。今回の補正でもこの両会計から合わせて640万円繰り入れるよう補正されているが、今後も一般会計からの繰り出しを続けるのか。

また、赤字を出さないために保険税の増額を考慮するのか。

答 61年度予算編成時にも1億5,000万円の財源不足が見込まれたので、一部税率の引き上げを行い、不足分を財政調整基金と一般会計から繰り入れた。これは年々医療費が増えるのと、老人保健法



流雪溝に雪を流す市民

改正が遅れたためである。

しかし、来春3月の補正を見込むと財調基金の保有高もわずかなになるので、62年度予算編成も相当厳しくなる。

一般会計からの全面補填ということは、財政運営に大きな影響を及ぼすので、税率の引き上げの検討、原因の究明を行いたい。

福祉タクシーの料金助成 について

問 現在、重度身体障害者に対して、年間12枚のタクシー利用券を助成しており、大変喜ばれているが、枚数をもう少し増やせないか。

視力障害者にとって音響信号機は大変重要であるが、現在、六間三番通り交差点の信号機が機能を果たしていない。早急に調査すべきである。

今後、新しいコブシ通りにも設置していく計画なのか。

答 在宅の身体障害の方が社会活動上必要な場合やリハビリ等のためタクシーを利用する場合に、1年に400円券12枚を助成している。

今後、他市の状況等を踏まえて利用者の要請に応じたい。

六間・三番交差点の音響信号機については補修してもらうよう公

安委員会をお願いしたい。

コブシ通りは東西を縦貫する道路として建設され、交通量もますます増えることが予想されるので危険な個所については信号機の設置をお願いしたい。

人事案件

225回臨時会

収入役の選任について同意

○吉村 吾一氏 (57歳)
(平沢領家11号19番地)

人権擁護委員候補者の推薦について同意

○大門 俊我氏 (71歳)
(錦町4番11号)

226回定例会

教育委員会委員の任命について同意

○萬谷 正氏 (60歳)
(元町14番17号)

公平委員会委員の選任について同意

○松本 知達氏 (68歳)
(深井第27号25番地)

○藤井 道明氏 (43歳)
(錦町4番17号)

委員会報告

委員長報告から

●総務委員会

●工事検査室の廃止について

今回上程されている行政機構の見直し案によると、工事検査室を廃止して建設課の中に「工事検査監」として統合するようになっている。

工事の検査は発注された工事が適切に施行されているかどうかを厳しくチェックされなければならずその権限と独立性が必要である。

これが建設課内に置かれるのは工事の設計・監督に携った者が検査に当たることになり、検査に要求される中立性や厳正の面から見ると問題がある。むしろ、市長直轄で1人ひとりが独自の権限を有するメンバーで組織すべきであるという強い意見が述べられた。

決算特別委員会

◎山口忠男 ○松田庄二 飯岡彦兵衛 兼井藤波 高田新左衛門 山本 武 (◎委員長 ○副委員長)

二月十五日です

市議選投票日は

ぜひあなたの一票を

請願・陳情審議結果			
番号	件名	提出者	結果
請願12号	市道拡幅について	城町3区区長 大藤政治 外27名	採 択
請願13号	市道編入について	荒子町区長 松田 勉 外4名	採 択
請願14号	民間保育行政について	大野市民間保育園園長会 代表 石田善徳 外26名	採 択
請願15号	排水路改修について	下丁区長 桐林新四郎 外7名	採 択
請願16号	道路拡幅及び流雪溝の設置について	天神町7-8 土井輝夫 外20名	継続審査
請願17号	市道上唯野2号線の改良について	下唯野区長 白井輝治 外4名	採 択
請願18号	市道認定について	下舌区長 斉藤彦則	採 択
陳情18号	応分の助成について	社会福祉法人 大野和光園 理事長 水上太右エ門	採 択
陳情19号	利子補給制度の充実について	大野織物工業協同組合 理事長 稲山喜代二	採 択
陳情20号	織布業の不況対策について	大野織物工業協同組合 理事長 稲山喜代二	採 択
陳情21号	バックネットの設置について	春日ソフトボールスポーツ少年団 田中一英 外3名	採 択
陳情22号	応分の助成について	大野痴呆性及び寝たきり老人をかかえる家族の会会長 幾山利夫 外9名	採 択
陳情23号	商品・サービスに幅広く課税するあらゆる型の「大型間接税」の導入に対し、不公平税制の是正を求める意見書提出について	福井県生活協同組合連合会 会長理事 山田 敏 外12団体	継続審査
陳情24号	大型間接税の導入、マル優の廃止をやめ、国民本位の税制改革を求める意見書提出について	福井民主商工会 代表 大崎栄太 外19団体	継続審査
請願11号	市道橋爪1号線の改良について	橋爪区長 東 信行 外14名	採 択
陳情14号	利子補給について	福井県織物構造改善工業組合 理事長 河合 均 大野織物工業協同組合 理事長 稲山喜代二	取り下げ